

VMware と AWS の提携

VMware と AWS のパートナーシップがもたらす価値

VMware と AWS: メリット

必要な場所でサービスを利用

- データセンターのアプリケーションをクラウドで実行
- データセンターからセキュアなクラウド サービスを提供
- 専任のエンジニアリング チーム、サポート チーム、セールス チームによる連携サポートの下、クラウドまたはオンプレミスでセキュアなクラウド サービスを大規模に実行
- オンプレミスとクラウドにまたがってアプリケーションを開発、テスト、実行、移行するためのさまざまなオプションにより、サービス エクスペリエンスを向上

一貫性のある運用で管理を簡素化

- 一貫性のある運用により、イノベーションの促進、コストの最適化、迅速な対応を実現
- 既存のインフラストラクチャ、IT スキルセット、実績のあるプロセスを利用できるため、再トレーニングが不要
- 導入時および導入後において、オンプレミスとクラウドにまたがるインフラストラクチャ、ネットワーク、仮想マシン、コンテナの運用を効率化

リスクの最小化と、将来へ向けた環境の構築

- 共同開発による独創的な低リスクのソリューションにより、パブリック クラウドとオンプレミスのコンピューティング環境を統合
- VMware Cloud on AWS と HCX を使用すると、双方向でのダウンタイムなしのアプリケーションの移行が可能
- 既存のアプリケーションとモダン アプリケーションの両方を実行でき、AWS の各種サービスの利用も可能

VMware® は Amazon Web Services(AWS)とのパートナーシップにより、効率性と信頼性に優れたハイブリッド クラウド データ サービスをすばやく、容易に提供するための基盤を構築しました。グローバルに展開する大手パブリック クラウド プロバイダーである AWS と、市場をリードするプライベート クラウド ベンダーである VMware が共同開発したソリューションは、必要なとき、必要な場所でのサービス利用を可能にします。オンプレミスとクラウドにまたがってアプリケーションを開発、テスト、実行、移行するためのさまざまなオプションにより、サービス エクスペリエンスを向上します。

VMware と AWS が提携したことで、一貫性のある使い慣れたツールと API、さらには管理ポリシー、セキュリティ ポリシー、運用ポリシーをオンプレミスとクラウドの両方に適用できるため、環境全体の管理が容易になります。既存のインフラストラクチャ、IT スキルセット、実績のあるプロセスを引き続き利用できるため、新たな投資やビジネスの中断が最小限ですみます。また、導入時も導入後も、オンプレミスとクラウド全体でインフラストラクチャ、ネットワーク、仮想マシン、コンテナを効率的に運用できます。

両社のパートナーシップは、リスクを最小化すると同時に、将来へ向けた環境の構築も可能にします。何百ものアプリケーションをリファクタリングせずに、ダウンタイムなしで迅速に移行できます。この VMware と AWS が共同で開発した独創的で低リスクのソリューションは、パブリック クラウドとオンプレミスのコンピューティング環境を統合するため、既存のアプリケーションとモダン アプリケーションの両方を実行でき、AWS のさまざまなサービスも利用できます。

パートナーシップの強み

仮想化のトップ プロバイダーである VMware(世界の仮想マシン市場の占有率 83%)と、パブリック クラウド プロバイダーの最大手 AWS が共同で開発したソリューションは、お客様にさまざまなメリットをもたらします。VMware と AWS の何百人ものエンジニア、サポート チーム、セールス チームが連携することにより、165 以上の AWS サービスをシームレスに統合するジョイント ソリューションを開発、提供します。このソリューションでは、数千社におよぶ世界中のお客様が現在使用している VMware のテクノロジーを引き続き活用できます。

VMware Cloud on AWS

VMware Cloud™ on AWS は、VMware vSphere® ベースの複数のクラウド環境にまたがってアプリケーションを実行することができるオンデマンド サービスです。AWS の各種サービスへのアクセスも可能です。VMware Cloud Foundation を基盤とするこのサービスには、vSphere、VMware vSAN™、NSX® に加え、vCenter® による管理機能が統合されており、専用の伸縮自在なベアメタル AWS インフラストラクチャ上で稼動するように最適化されています。

VMware Cloud on AWS を利用すると、IT チームは使い慣れた VMware ツールでクラウドベースのリソースを管理できます。すなわち、既存のツールとスキルセットを使用しながらインフラストラクチャをモダン化できます。複雑な変換やリファクタリングが不要で、再設計する必要もありません。さらに、VMware Cloud on AWS では、AWS のサービスもシームレスに利用できます。

「弊社には、クラウドに関する深い知識を持つ優秀な人材が揃っていますが、それでも、既存のエンタープライズアプリケーションをクラウドネイティブアプリケーションに変換するのは非常に困難です。プライベートクラウドのアプリケーションであっても、パブリッククラウドに移行するにはリスクが伴うため、リプラットフォームと再テストは注意深く行わなければなりません。VMware Cloud on AWS と Trend Micro Deep Security を組み合わせることにより、スムーズな移行が可能になり、数か月分の時間と数千人時間に相当する工数を削減できました」

トレンドマイクロ、Cloud Solutions Architect、
Zack Milem 氏

「VMware と VMware Cloud on AWS は Brinks のグローバル インフラストラクチャの基盤です。このインフラストラクチャの柔軟性が、お客様へのサービスレベルの向上に役立っており、Brinks のテクノロジーとビジネスを変革する大きな推進力となっています。これらのシステムでは、プライベートクラウドとパブリッククラウドの間でワークロードを容易に移動できるため、本番サービスの俊敏性が向上し、ディザスタリカバリも実現できました」

Brinks Inc., Infrastructure and Security 担当
Global Vice President,
Greg Osgood 氏

「お客様が望んでいるのは、VMware Cloud on AWS と同じハードウェア、インターフェイス、API をオンプレミスでも利用でき、ハードウェアとソフトウェアを管理する必要がなく、リリースされたばかりの最新の AWS 機能を即座に利用できる環境です。シームレスに統合されたハイブリッド環境を提供するため、AWS Outposts をリリースしました」

Amazon Web Services, EC2 Enterprise Workload,
Vice President,
Sandy Carter 氏

- 独創的な設計により、あらゆるクラウド環境を活用できる柔軟性と、一貫したクラウドの管理および保護を実現
- VMware Cloud Foundation をパブリッククラウドに拡張し、サービスとして利用
- エンタープライズクラスのソリューションにより、コンピューティング(vSphere)、ストレージ(vSAN)、ネットワーク(NSX)のすべてにわたって VMware テクノロジーを利用
- シンプルで一貫性のある運用により、AWS 上に VMware の Software-Defined Data Center(SDDC)環境を迅速にプロビジョニング

VMware Cloud on AWS の詳細、およびこのソリューションを使用してハイブリッドクラウドへ移行する方法については、<https://cloud.vmware.com/jp/vmc-aws> をご覧ください。

VMware Cloud on AWS Outposts: データセンター向けのクラウド マネージド SDDC

AWS Outposts は、AWS が設計したハードウェアにサーバとネットワークを統合し、AWS のインフラストラクチャをお客様のオンプレミス データセンターで運用できるようにする、構成可能なフルマネージド サービスです。VMware Cloud on AWS Outposts は、vSphere、NSX、vSAN、および vCenter が統合されたフルマネージドの VMware Software-Defined Data Center(SDDC)を、お客様のデータセンターやコロケーション施設に設置された AWS Outposts インフラストラクチャ(サーバとネットワーク)上で実行するためのソリューションであり、サービスとして提供されます。データセンターからクラウド、エッジにいたるまで、VMware のビジョンである「一貫したインフラストラクチャと運用」を拡張できます。このソリューションのメリットは次のとおりです。

- オンプレミスかクラウドかにかかわらず、vSphere、VMware Cloud Foundation、VMware Cloud on AWS 全体で一貫性のある機能、ワークロードの互換性、可搬性を実現
- クラウドと同様のシンプルな利用モデルを使用できるため、発注や展開が容易で、必要に応じたスケールアップとスケールダウンが可能
- オンプレミスの EC2 ベアメタル上の VMware Cloud on AWS と Elastic vSAN の組み合わせにより、コンピューティングとストレージの独立したスケールアップが可能
- クラウド サービス モデルにより、新しい VMware 機能を迅速に提供
- ハードウェアとソフトウェアのライフサイクル管理に伴うお客様の負担を排除
- データセンターの既存のストレージ、ネットワーク、セキュリティ、管理インフラストラクチャとの統合
- ローカルおよびリモートのさまざまな AWS サービスとのシームレスな統合

AWS Outposts 向け VMware のソリューションについて詳しくは、<https://cloud.vmware.com/jp/vmc-aws-outposts> をご覧ください。

Amazon Relational Database Service(RDS) on VMware

Amazon RDS on VMware は、VMware ベースの Software-Defined Data Center およびハイブリッド環境でデータベースを簡単にセットアップ、運用、拡張でき、さらに AWS や VMware Cloud on AWS にも移行できるサービスです。展開先にかかわらず、データベースは自動的に管理されるため、お客様はアプリケーションの開発とチューニングに注力できます。Amazon RDS on VMware は、Microsoft SQL Server、Oracle、PostgreSQL、MySQL、MariaDB のデータベースをサポートしています。

Amazon RDS on VMware の詳細については、[VMware のブログをご覧ください](#)。